遺跡調査費 水増し

150万詐欺容疑 渋川市職員ら逮捕

県警

渋川市の遺跡発掘業務の請負金額を水増しし、市から現金約150万円をだまし取ったとして、県警捜査2課と渋川署は22日、詐欺の疑いで、市教委文化財保護課副主幹、小林修(42)＝高崎市問屋町＝、受注業者の「前橋文化財研究所」社長、折舘伸二(57)＝玉村町角渕＝の両容疑者を逮捕した。いずれも容疑を認めている。県警は小林容疑者の供述から、2人が常習的に水増しし契約を結び、被害総額は水増しだけで数百万円に上るとみて全容解明を進めている。

小林修容疑者

2人の逮捕容疑は共謀して2009年9月上旬から10年1月中旬ごろまでの間、渋川市が発注した遺跡発掘業務の請負金額を不正に水増しし、市から2回にわたって計約150万円をだまし取った疑い。

県警によると、小林容疑者は「ローンの返済に使った」と供述。小林容疑者から犯行を持ち掛けられたとされる折舘容疑者は「市の受注業者として断り切れなかった」と供述している。

約150万円の請負金額のうち、約42万円が不正に増額されていた。同研究所の口座に市から振り込まれた現金の水増し分は、折舘容疑者が収入印紙を購入して小林容疑者に渡し、小林容疑者が県内の金券ショップで換金していた。水増し分のほぼ全額が小林容疑者に渡っていた。

押収した資料を運び出す県警の捜査員＝22日
午後10時10分、渋川市北橋総合支所

県警は小林容疑者の供述からほかにも水増しした不正な契約が結ばれていたことを確認しており、異付け捜査を進めている。

小林容疑者は1994年に旧赤城村に採用され、村歴史資料館の学芸員として勤務。渋川市との合併後は市教委文化財保護課で埋蔵文化財の発掘調査などを行い、委託業務を業者に発注する際の起案などもしていた。両容疑者は小林容疑者が旧赤城村職員だったころから付き合いがあったとみられる。

「仕事は真面目」 小林容疑者

水増し請求で公金を詐取したとして渋川市教委文化財保護課副主幹、小林修容疑者が逮捕された事件を受け、市関係者には衝撃が走った。

阿久津貞司市長は「綱紀粛正と法にのっとった仕事を普段から職員に徹底してきた。最高責任者として心からおわびする。市民に対して職員一丸となって信頼回復に努める」と話した。

登坂芳昭・市教委教育部長は「小林容疑者は(日ごろから仕事に真面目に取り組んでおり、こんな事件を起こす人間ではないと思っていた」と驚きを隠さない。22日午後7時40分ごろに警察から「家宅捜索に入る」という連絡を受け、市幹部が市役所に集まって情報収集に追われた。

小林容疑者は遺跡や遺物の研究に取り組み、2007年に石川薫記念地域文化賞奨励賞を受賞している。

小林容疑者の自宅では同日夜、捜査員とみられるスーツ姿の男性ら数人が深夜まで出入りした。近所の人は「道で会えばあいさつをするが、ほとんど近所付き合いはない」と話した。

渋川市北橋総合支所を家宅捜索

小林修容疑者が勤務する渋川市北橋総合支所では22日午後9時ごろから、捜査員約10人が1時間余りにわたって家宅捜索した。段ボール4箱分の関係資料を押収した。

騒ぎを聞きつけた近くの男性は捜査員が段ボール箱を運び出す様子を目にし、「身近な役所で事件があるなんて信じられない」と驚いた様子だった。

道の駅 地域振興へ続々

4施設が登録申請中

前橋、南牧、昭和、甘楽

道の駅登録を目指している「富士見温泉見晴らしの湯ふれあい館」の農産物直売所前で今月開かれた餅つきイベント

市町村などの申請を基に国土交通省が登録する道の駅が地域振興策として注目を集めている。もともとはドライバーらの利便性向上が目的だったが、農産物直売所や温泉施設の併設など特色あるサービスで人気が上昇し、集客効果が高いためだ。本県では前橋、南牧、甘楽、昭和の4市町村が新たに4施設の登録を申請しており、認められれば県内の登録数は全国9位の25施設となる。

集客拠点 注目度↑

全国9位、25施設に

南牧村は県道上田上野線沿いの農産物直売所「オアンズなんもく」（千原）の駐車場を拡大するなど道の駅の要件を満たすように整備し、登録申請した。振興整備課は「登録されればPRされ、車のナビにも表示される。テレビや雑誌で特集が組まれるようになり、道の駅めぐりの旅をする人も多い。登録効果は高い」と理由を説明する。

前橋市は「富士見温泉見晴らしの湯ふれあい館」（富士見町石井）を活用し、市内3カ所目の登録を目指す。昭和村は農産物直売所「旬菜館（森下）、甘楽町は「町物産センター」（小幡）の登録を申請している。

県内では1994年登録の「上野」（上野村勝山）を皮切りに、昨年8月登録の「赤城の恵」（前橋市荻窪町）まで15市町村の21施設が登録済み。登録数は現在、千葉など4県と並んで15位だが、申請中の4施設が登録されると9位に上昇する。

中でも「らら藤岡」（藤岡市中）と「川場田園プラザ」（川場村萩窪）は関東の「好きな道の駅ベスト30」で少なくとも7年連続で上位1、2位を独占中。昨年度の来場者は川場86万人、藤岡234万人でともに過去最多を更新するなど、高い集客力でまちづくりの拠点になっている。

県は全市町村に1カ所以上の道の駅を置く「全県道の駅構想」を掲げており、夏の大型観光企画「群馬デスティネーションキャンペーン（DC）」も見据え、未設置市町村に積極的な申請を働き掛けている。

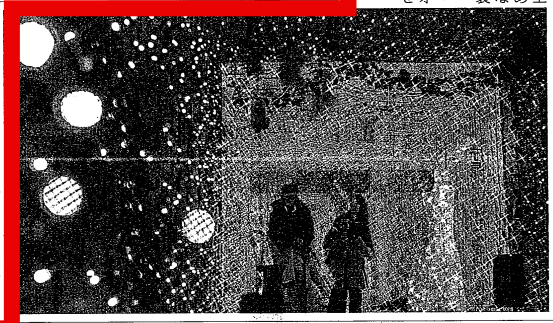
前橋市柏倉町のぐんまフラワーパークで22日、7万個のイルミネーションを使った総延長130メートルのトンネル「光の万華鏡」の点灯式が行われ、家族連れら多くの人が真昼の幻想的な世界を楽しんだ＝写真。

幻想 光の万華鏡

前橋・ぐんまフラワーパーク

飾され、ハートや動物のオブジェが来場者を楽しませている。4月17日まで。

花が少ない冬の魅力向上を図ろうと、昨年から始めた。トンネル内は赤や緑などさまざまな色の電球で装



沼田で7棟全半焼

22日午後8時9分ごろ、沼田市恩田町の民家付近から出火。近くの法善寺など7棟を全半焼した。

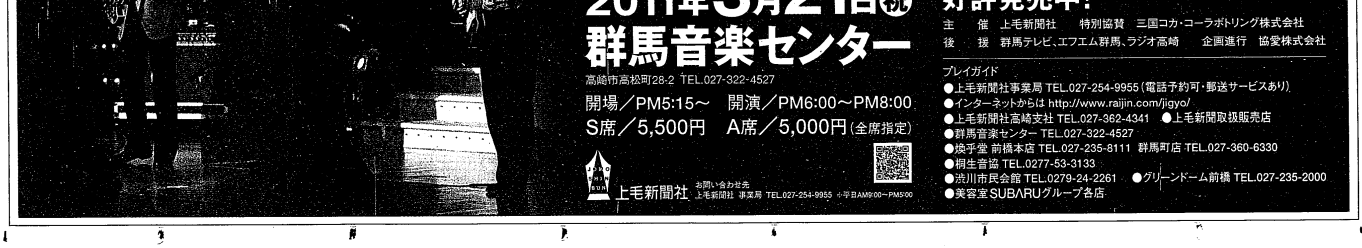
利根沼田広域消防本部によると、火炎は午後10時5分ごろに鎮火したが、消火の際に煙を吸うなどして1人が病院に運ばれた。沼田署などが詳しい出火原因を調べている。

写真館

▽手作りの絵馬で今年の開運を祈願しようと、前橋市の大友児童館は22日、児童を対象にした絵馬作り教室を同館で開き、地元の子供たちが絵馬に願い事を書いた＝写真。

▽同館で木工教室を開いている中条次雄さんが絵馬作りを提案。あらかじめ中条さんが木で作った縦10センチ、横15センチの絵馬に、子供たちが今年の干支のウサギや願い事を書き込んだ。

▽前橋二総社小2年の結香織さんは「来年の長縄大会でクラスが優勝できるようにお願いした。家の玄関に飾るんだ」と話していた。



2011年3月21日(祝)
群馬音楽センター
高崎市高松町28-2 TEL.027-322-4527
開場／PM5:15～　開演／PM6:00～PM8:00
S席／5,500円　A席／5,000円(全席指定)
上毛新聞社 お問い合わせ先 上毛新聞社 事業局 TEL.027-254-9955 ※平日AM9:00～PM5:00

好評発売中!
主催 上毛新聞社　特別協賛 三国コカ・コーラボトリング株式会社
後援 群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎　企画進行 協愛株式会社
プレイガイド
●上毛新聞社事業局 TEL.027-254-9955（電話予約可・郵送サービスあり）
●インターネットからは http://www.raijin.com/jigyo/
●上毛新聞社高崎支社 TEL.027-362-4341　●上毛新聞取扱販売店
●群馬音楽センター TEL.027-322-4527
●換乎堂 前橋本店 TEL.027-235-8111 群馬町店 TEL.027-360-6330
●桐生音協 TEL.0277-53-3133
●渋川市民会館 TEL.0279-24-2261　●グリーンドーム前橋 TEL.027-235-2000
●美容室SUBARUグループ各店

太田の路上強盗 男に懲役6年

前橋地裁判決

太田市内の路上で信号待ちをしていた乗用車に故意に車を追突させ、乗用車を奪ったとして、強盗傷の罪に問われた栃木県足利市通町、無職、佐藤正二被告(42)の裁判員裁判の判決公判が21日、前橋地裁であった。石山容示裁判長は「被害者の情報を実行役に提供し、犯行に不可欠な役割を果たした」として、懲役6年（求刑・懲役7年）を言い渡した。

石山裁判長は判決理由で、佐藤被告の交際相手と実行役2人の供述について「詳細が一致しており、信用できる」と指摘。共謀はなかったとする被告側の無罪主張を退け、「被告は実行役と同等の責任がある」と共謀を認定した。

判決によると、佐藤被告は仲間と共謀して2008年4月29日、太田市下浜田町の路上で、男性の頭を鉄の棒で殴り、男性の車を奪った。

【おことわり】日曜連載の「職に生きる」はお休みました。

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。